

## 令和3年度第4回芽室町総合計画審議会議事録

令和3年10月6日(水) 18:30~19:30

めむろーど2階セミナーホール

### ■出席委員(14名)

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、小椋委員、小池委員、小林委員、白銀委員、珠玖委員、鈴木委員、高道委員、鳥本委員、林委員、松山委員、南館委員

### ■欠席委員(1名)

岡田委員

### ■事務局・説明員

石田政策推進課長、佐々木補佐、村上主任

佐々木総務課長、梅森危機対策係長、西田魅力創造課長、小林魅力創造課参事、菅原住民税務課長、大野健康福祉課長、坂口高齢者支援課長、塚田高齢者支援課長補佐、林介護保険係長、本内在宅支援係長、杉山介護予防係長、杉山子育て支援課長、有本子育て支援課長補佐、我妻農林課長、仲野商工労政課長、中村商工労政課長補佐兼商工振興係長、安田工業労政係長、日下生涯学習課長

### ■開会

### ■会長挨拶

### ■調査事項

#### ①産業活性化プロジェクト

委員

今現在の新工業団地の考え方や進捗状況について、話せる範囲で結構なのでお聞きしたい。

商工労政課長

工業団地の現状については、建物が建っていない土地もあるが、町の所有で売れていないわけではなく、企業の判断で建物が建っていない土地が散見される状況。町の方から売れる土地はない状況。第5期総合計画の中では土地利用構想ということで、今後団地を形成したいという構想をもっている。土地利用の面から、農業振興地という法規制もあるので調整に難航している状況。関係課や関係機関と連携しながら、団地の実現に向

けて進めていきたい。

会長

評価について意見はあるか。

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくCという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。

## ②雇用促進プロジェクト

会長

プロジェクトに対して意見はあるか

委員（意見なし）

会長

評価について意見はあるか。

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくCという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。

### ③定住促進プロジェクト

会長

プロジェクトに対して意見はあるか

委員（意見なし）

会長

評価について。担当評価は「D変わらない又は維持した」だが、庁内評価は「成果指標①に基づき「C前進した」と評価している。経営戦略会議の評価は「成果指標①に基づき」と記載されているが、成果指標①で判断したということか。

政策推進課長

担当課は成果指標②が減少したので「D変わらない又は維持した」と評価したが、経営戦略会議では成果指標②の減少は誤差の範囲内ということと、非常に高い数値であることに変わらないことから、②よりも①を重点的に考え「C前進した」と評価した。

委員

成果指標②よりも成果指標①を優先するように聞こえる。全体的なことを見ないといけないのではないか。

政策推進課長

そのように判断していただいてもまったく問題ない。成果指標②の住民意識調査は毎年2,000人を対象に行っているアンケートで、同じ内容でアンケートをしているが対象者は毎年違うのでブレがある。参考にしているが絶対的なものではないということをご理解いただきたい。審議会の中でD評価ということでもまったく問題ない。

会長

この誤差が許容範囲だろうということでC評価ということか。他に意見はないか。

委員

過去の判例を見ていると、担当課評価から経営戦略会議（庁内評価）の評価が上がる根拠がどこにあるのか明記しないと、外にどう説明するのか。（2項目の成果指標の）1項目で評価したら、もう1項目はどうなるのかということになる。全体を通して説明できるようにしてほしい。

会長

評価については、多数決ではなく皆さんの合意で出したい。他にご意見ある方いらっしゃればいただきたい。

委員

他の施策の評価と比べても、1つ下がったから前進してないという風にはしていないと思う。相対的に見て著しく落ちていないのであれば、少しずつ前進しているととらえてCでいいのではないか。

会長

アンケート（住民意識調査）は前回と同じ人に届くわけではなく都度変わることを考慮するとどうかなというところもある。これから大いに改善していきだろろうということを考え、全体として「C前進した」としたいが、いかがか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。

#### ④関係人口創出プロジェクト

会長

プロジェクトに対して意見はあるか

委員（意見なし）

会長

評価について意見はあるか。

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくCという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。

⑤安心子育てプロジェクト

委員

「3施策の達成状況」の（1）の想定される理由の欄で、成果指標①は前年度より上昇となっているが、①を見ると前年度よりもやや減少しているのでは？

子育て支援課長

成果指標①の住民意識調査の数値だが、2019年度実績値は87.9%、2020年度実績値は89.0%なので、上昇しているとしている。

政策推進課長

確認して改めてご連絡する。

会長

数値以外に質問などはあるか。

委員（意見なし）

会長

成果指標の数値の部分で疑義があるが、現段階で評価を行ってよいか。

委員（異議なし）

会長

評価について意見はあるか

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくCという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。

#### ⑤安心生活プロジェクト

委員

「5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み」のMaaSとはどのような交通手段か

政策推進課長

ITなどの技術を使った新しい取り組み。例えばスマホと連動させて交通の手配ができたり、バスとJRの連動など交通の仕組み。今町で検討しているのは、交通と買い物を結びつける取り組み。これが実現できると安心生活のまちづくりにつながるのではないかと考えている。

委員

MaaSに関連して。現在芽室町においては、じゃがバス、タクシー助成、上美生のNPOなど色々な交通サービスがあるが、どういう風につながり、住民サービスにつなげていくか教えてほしい。

政策推進課長

農村部の方の交通手段が最大の課題。上美生地区においてはNPOの皆さんが自家用有償旅客運送の仕組みを使って行っているが、人数にも限りがあり、すべてのニーズに応えられるわけではない。自家用有償旅客運送とは、2種の免許を持たなくても講習を受ければ一般の人を乗せられるという制度。この自家用有償旅客運送とタクシー事業を合わせた仕組みができれば、他の地域に普及できるのではないかと考えている。その時のドライバーの手配にITを使ったり、さらに買い物に結び付けられれば、新たな取り組みにつながるのではないかと考えている。

委員

「4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等」の欄に防災体制の整備と確立が課題とあるが、現在の町内会の加入率は56%で44%は町内会には入っていない状況。その中で、町内会に入っていない人についてはどう考えているか

総務課長

防災対策としては、災害情報を迅速に伝えていくことが課題で、その点は町内会の加入の状況は関係ないと考えている。しかし、各町内会にお願いしている自主防災組織は現

在22組織しかできていないので、さらに団体数をふやしていくことが町内会・自主防災組織・行政が一体となった対応をとっていくということにつながっていくと思うので、そういう意味では町内会の加入率を高めるとともに、自主防災組織の組織率を高めていくことが防災につながっていくと考えている。

#### 委員

実際には呼びかけても、町内会に入っていない人はそういうものに参加しようというのは見受けられない。今日も地震があったが、災害はいつ起こってもおかしくない。組織的な行動とか訓練に入っていないと、災害で避難所に行った時に町内会の加入の有無で軋轢や行き違いがおきるかもしれない。そういう意味では、町内会に入っていない人への呼びかけ、臨時の町内会として一緒にできるような体制に組めないかと思うが、実際に行動化しないと身になっていかない。町内会加入率上げるのも大事だが、実際に取り組むことが役に立つのではないかと思い発言させていただいた。

#### 総務課長

ご意見として承る。今年はコロナ禍のため町民参加の防災訓練実施できなかった。いただいたご意見の観点をふまえながら今後対応していきたい。

#### 委員

(町内で)不幸な事件が起こった。私のいる町内会でも、独居の方が亡くなったことがある。私は常々“サンダル履きで通える”という町内会のまとまりが必要だと考え、自分でもサロンを開いている。役場の福祉課も一生懸命やっているのもよく分かるが、顔も分かる・名前も分かる関係をもっともっと作っていかなければならない。こちらは防災とは違った、静かに忍び寄る危機かと思う。町内会の加入者対策を強化すべきという意見があって賛成だが、前々から言っている、連合町内会の事務所をきちり作ってもらいたい。ないのは道内でも珍しい。町内会加入率は、北海道のデータでは、芽室町は管内最低で帯広市よりも低いと言われている。もちろん専門家の保健師さんも頑張ってくれているが、東北地震の人に聞いたら「住民台帳なんか全然役に立たなかった、地震の時に取りに行く暇はなかった、助け出してくれたのは近所の人だった」ということをお聞きし、町内会の大事さを思い知っている。

町内会は地縁組織、NPOや趣味の会は志縁組織と言うそうである。地縁組織と志縁組織を縦横の系にしてきちんと絡めていくことが地域を作っていくことになると言われている。町内会について役場でももう少し頭に入れて考えていただき、さらに一層やっていただきたい。成果指標①②③数値はとても残念に思う。町内会の弱体化が数値に表れているのかと思う。

会長

貴重なご意見をいただいた。ぜひ審議会の項目の中に記載していただき、担当課についても具体的な対策をお願いしたい。他にご意見のある方は。

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくDという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「D（策定時と比較して変わらないまたは維持した）」と評価する。

#### ⑦輝くまちづくりプロジェクト

会長

プロジェクトに対して意見はあるか

委員（意見なし）

会長

評価について意見はあるか。

委員（意見なし）

会長

それでは担当課・庁内評価と同じくCという評価で良いか。

委員（異議なし）

会長

それでは、「C（策定時と比較して前進した）」と評価する。



## ⑧観光振興プロジェクト

委員

国民宿舎や野外施設の利用者数を教えてもらいたい。

魅力創造課参事

国民宿舎の利用者数は令和2年度は1,678人。野外施設の利用者数は、キャンプ事業トライアルが1,521人、スキーリフトののべ乗降客数が278,058人という内訳になっている。

会長

コロナで減ったということでとらえてよいか。

魅力創造課参事

特に宿泊の部分については、令和元年度と2年度を比較すると4,357人の減。リフト乗降客数については、近年自然降雪不足で人工降雪機をフル稼働させて12月末にオープンしているが、2月中旬に降雨で2日間クローズしたことと、この時期は本州からスキーの団体利用があるが首都圏のコロナの状況でこちらに来れなかったのが大きな原因。それとあわせて、昨シーズンはナイターの開設日を3日間の営業に縮小したのが大きな要因であると担当課ではとらえている。

会長

宿泊やいろいろな分野で以前より人数減っているようだが、新規事業を含めて、何かに掲載する、マネジメントシートなどに掲示することによって町民の利用度が上がるのではないかと思うがいかがか。

魅力創造課参事

マネジメントシートには宿泊者数、キャンプ場利用者数、リフト乗降客数という形で載せているが、ナイター利用の縮小に関する原因はこういったところには標記していないので、統計的な物を今後色々な形で周知させていただこうかと思う。

会長

評価に入る。

担当課がE、庁内評価がDというところだがいかがか。

委員（意見なし）

会長

色々な状況を鑑みてD変わらなかったとしたいがいかがか

委員（異議なし）

会長

それでは、「D（策定時と比較して変わらなかった又は維持した）」と評価する。

会長

本日の議事は終了した。ここで、オブザーバーの十勝総合振興局地域政策課、千葉課長から一言いただきたい。

千葉課長

令和2年度は、総合戦略2期目の最初の1年ということで、非常に大事なスタート。プロジェクトは、雇用や関係人口など町として新しい取り組みを含んでいて、評価については、D変わらずが2つで、C前進したが6つ。実態としてはコロナの中で数字的にも厳しいものがあったかと感じている。緊急事態宣言が明けポストコロナに向けて、ブレーキとなる感染防止策と、アクセルとなる経済回復に向けた対策を同時に進めていかないといけない。関係人口や魅力創造や新しい分野など、今年度については今後の取り組み次第で上昇に持っていけるかと思う。振興局としても一緒になって取り組んでいくので、引き続きよろしく願いしたい。

会長

ありがとうございました。審議が終わったが、全体を通してご意見やご希望があればお聞きしたいがいかがか。

委員（意見なし）

会長

今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回の評価に関する審議会は11月頃。事務連絡として、9月分審議会の報酬の支払いについてと、前回審議会（書面開催）の質問部分への回答の配布について説明。

会長

ただいまの説明に対し、質問はあるか。

委員

前回の審議会の回答について。4-2-3 スノーポールについて。除雪の時に押して曲がったものについて確認してもらいたい。

政策推進課長

今担当課で進めている。来年度の予算計上も始まるので、確認して進めていきたい。

会長

それでは、本日の会議を終了する。お疲れさまでした。